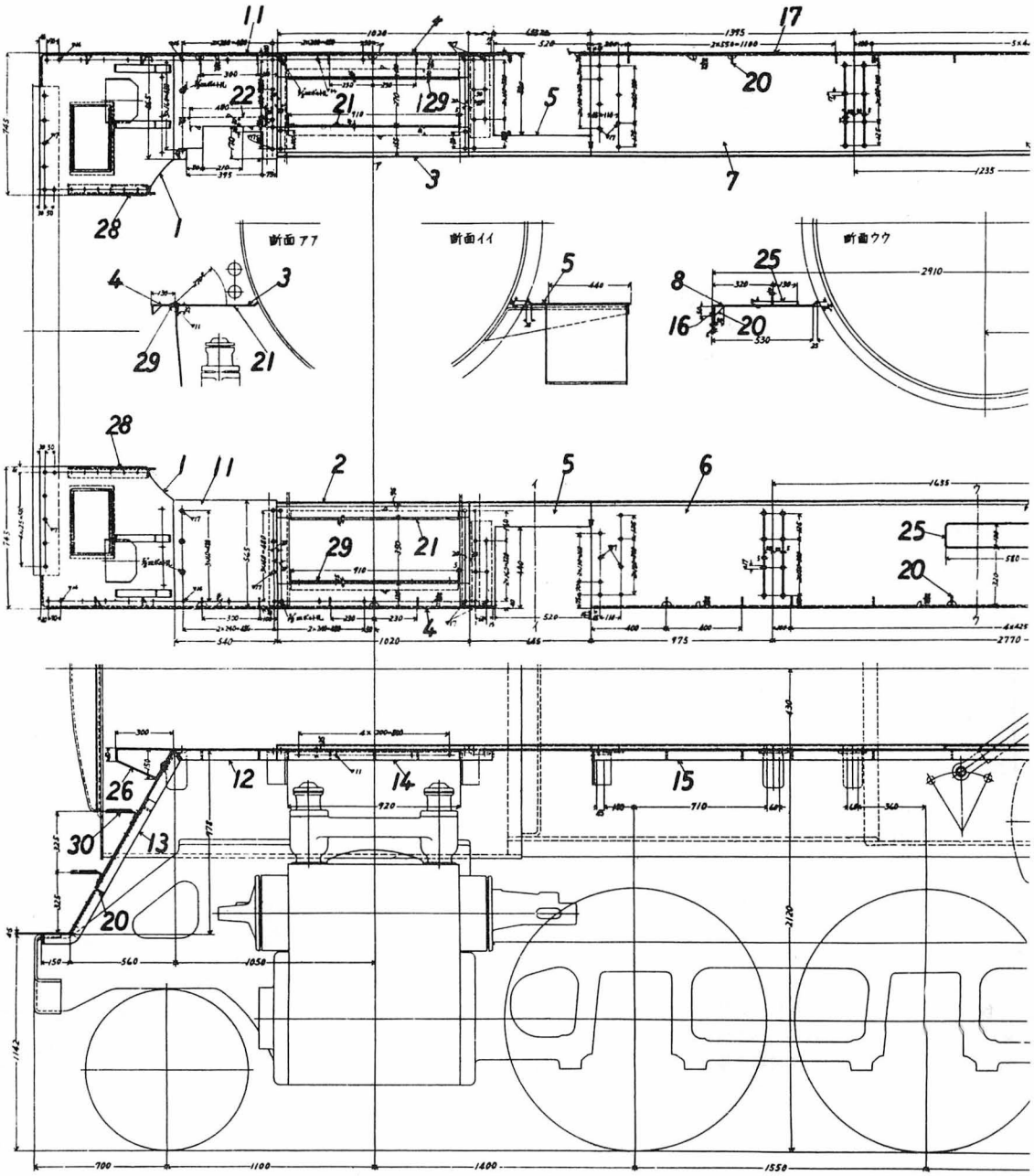
凹字形の部分の内側左右にある。電力は桁の側面のレールから各ボギーに伝達されるので，全列車重量に対する動力の比率がきわめて大きく，そのため加速度が高く，また一般の鉄道の最急勾配(こうばい)の3ないし4倍の急坂，すなわち道路なみの勾配をのぼることができる。曲線でも直線区間と同じ高速度で走れるような傾斜を車両に与えるため，曲線部では桁自体が45°まで傾けてある。構造上脱線のおそれがまったくなく，動揺も騒音もほとんどない。さらにアルヴェーク車両の大きな特長は，レールから走行状態のまま自動的にローラの位置を変えて，ただちに道路上に移ることができる点で，これにより，貨物の戸口から戸口への敏活な輸送が可能であるばかりでなく，都会では郊外の住宅地帯で道路から客を乗せ，そのまま高架線に移行して，高速で都心に乗り入れることもできる。高架線の構造が簡単であるため，建設費は普通の高架鉄道の$\frac{1}{2}$にすぎず，保守・運転費もきわめて低廉で，経済性の点でも従来のあらゆる陸上交通機関をしのぐという。——→単軌鉄道。

(鈴木　明)

**アルゼンチンのてつどう　アルゼンチンの鉄道**　アルゼンチンは 2,797,109 km² の総面積をもち，鉄道は 1,000 km² 当り 15 km，人口 1,000 人当り 3 km となっている。

歩　　み